



第59回 運動会 「元気100倍 心をひとつにみんなで前進」



新型コロナウイルスの感染症の落ち着きを受けて、3年ぶりに運動場で全校運動会を開催することができました。子どもたちは、元気いっぱい体を思いっきり動かすことができました。

小学部

低学年のかけっこ「えがおの花さけ はなかつぱ!」では、ハードルを越えて、自分が作った花を向こう側の木まで取りに行き、はなかつぱの頭に乗せることができました。ダンス「みんななかよし きんらきらぼん!」では、カッパの甲羅を身に着け、音楽に合わせて手を振ったり、輪になったり、とてもかわいく踊っていました。どきどきしながらも持てる力を十分に発揮できた満足度が一人一人の表情に表れていました。



中学部

今年は「明日へつなげ!」をスローガンに掲げ、中学部一丸となって演技と競技に一生懸命取り組みました。演技では、「OH! 代官ばやし」とゆずの「OLA!!」の曲に合わせてダンスをしました。法被を着たり、ボンボンを持ったりして元気よく踊ることができました。ポーズを決めるところ、手をしっかりと伸ばすところなど練習のときに学んだダンスのポイントを押さえて踊っていた姿がとても印象的でした。競技では、「つなげ! ~中学部の1mm~」のテーマのもと、障害物競走を行いました。サッカーゴールに向かってボールを蹴ったり、バランスを取りながら平均台を渡ったりして一人ひとりが自分の役割を果たし、バトンをつなぐことができました。



高等部

今年は、「倉敷ソーラン」の演技と「思いをつなげ！進撃の GIANT BALL」、「つなげ勝利のペッパーミルバトン」の、三つの種目に取り組みました。演技では、「どっこいしょ、どっこいしょ、ソーラン、ソーラン」の威勢のよい掛け声を出しながら、元気いっぱい踊りました。「思いをつなげ！進撃の GIANT BALL」では、大きな玉をペアの友達と息を合わせてコントロールし、ゴールまで運びました。「つなげ勝利のペッパーミルバトン」では、チームの勝利に向け、一人一人が力の限り一生懸命走り、バトンをつなぎました。執行部や体育委員の生徒を中心に開閉会式の司会進行や競技の準備・片付けも生徒たちが協力して行いました。今年度のテーマ「元気100倍 心をひとつにみんなで前進」のとおり、仲間と一緒に全力で取り組んだ運動会になりました。



小学部・中学部・高等部がみんな一緒に行く、運動場での運動会。実は、8年ぶりでした！

これまで、耐震工事や感染症対策のため、各学部での分散開催が続いていたので、倉敷支援学校に着任して7年目の私にとっても、運動場での全校開催は初めての経験でした。

当日は、放送係として音楽を掛けたり、アナウンスをしたりしながら演技を見ていました。広い運動場、たくさんのお客さん、大きなBGMやアナウンスの音…決して得意ではないであろう状況の中、練習の成果を発揮しながら、一生懸命に頑張る子どもたちの姿を見ていると、本当に胸が熱くなりました。

小学部1年生の男児。初めての運動会で、ドキドキしているのでしょうか、練習のときには見られなかった険しい表情になっていました。「かけっこ、スタートできるかな…」と心配しましたが、担任の腕の中で励まされ、一人でスタートがきれました。彼に、「できた」の経験が一つ増えた瞬間だったと思います。小学部、中学部、高等部…一つ一つできることを増やして行って、こんなふうに成長していくんだなあと、それぞれの学部のよさも感じられた、記憶に残る運動会でした。

(小学部教務主任 西田 久美)